

2015. 6. 12

秋葉原駅前トイレ「オアシス@akiba」の整備とその後の管理と展開

千代田区環境まちづくり部道路公園課



1. 有料公衆トイレの計画

平成 15 年当時、千代田区内には 30 箇所の公衆トイレがあり、年間約 5 千万円の費用をかけて 1 日 1～2 回の日常清掃や維持管理を行ってきた。しかし、実際には利用者の使い方の悪さや心ない者によるいたずら、そして破壊などにより、汚れや破損が絶えない状況が続いていたため、公衆トイレは「**暗い・くさい・汚い・怖い・壊れている**」の 5K とも呼ばれることも少なくなかった。千代田区は首都東京の顔として多数の外来者が訪れることもあり、区のイメージアップを図るため、公衆トイレについて抜本的な見直しを行うこととした。

平成 15 年、公衆トイレの現状を把握するため「公衆トイレのあり方の調査」を行うとともに、区民や学識経験者等で構成された「公衆トイレに関する検討協議会」（会長：高橋志保彦神奈川大学教授(当時)）を設置して、今後の公衆トイレについて検討を行った。

調査では、既存公衆トイレの利用頻度や利用者属性・アンケートとトイレ自体の評価を行ったところ、その結果、**公衆トイレのイメージの悪さや女性の利用率の低さ、利用人数の偏り**が見られた。

そこで検討会では、公衆トイレの廃止・新設検討を行う**適正配置と誰もが安心して利用できる公衆トイレへの改修**、そして**次世代の公衆トイレのモデルとして有料トイレ**の可能性と運営方法について検討を行った。その後、平成 16 年 4 月に検討協議会から区長に公衆トイレのあり方に関する提言がなされ、それを受けて区として新たなモデルとなる有料トイレの設置計画に着手した。



清掃前の公衆トイレ状況



大便器が破壊されただけでもトイレ

2. 有料トイレの必要条件

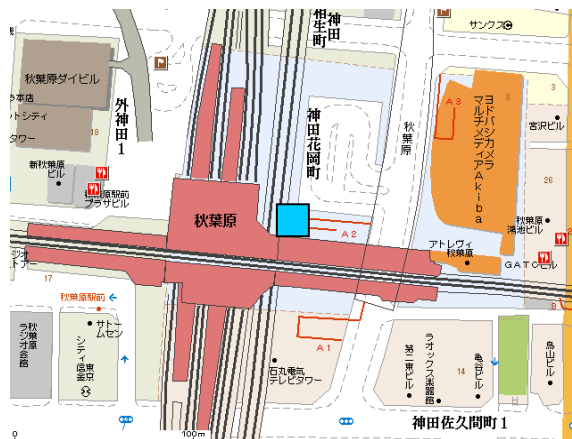
公衆トイレを有料化する上で、導入、運営に必要な条件として次の検討事項が示された。

- ・ 設置場所は多くの利用者と幅広い利用者層が見込めること
- ・ 維持管理上では維持管理が容易な場所であること、また有料化が可能な地域特性があること
- ・ トイレ空間として快適であること、ユニバーサルデザインに配慮していること
- ・ 話題性としてトイレ以外の付加価値とシンボル性が高いこと

3. 秋葉原で整備した理由

秋葉原は、世界的に有名な商業・観光地であるが、駅前に公衆トイレが無く必要性が高かった。また、当時駅周辺の区画整理事業が行なわれており、新しい街と変わりつつあり好機であった。

以上のような現地状況と、必要条件を満たすことが可能なことから、公衆トイレに対する理解とマナー向上を目指すためのふさわしい立地環境とともに、情報発信や先進性を複合させた有料トイレの整備を行うことを決定した。



有料トイレ位置図

4. 配置計画にあたっての諸条件

基本計画策定にあたっては、検討協議会のメンバーの中から基本計画検討ワーキンググループのメンバーを選定し、その同意を得て計画を策定した。

配置計画について、秋葉原駅西側広場（UDXビルの前）と東側広場（現在の場所）について検討を行った。

人通りの多さや目に留まりやすさを考えると西側広場が良好ではあったが、トイレの建築面積を考えると納まりが悪く、東側であると比較的敷地に余裕があり、また新しい秋葉原を象徴する場所であり、新しい公衆トイレを実現するのに適地であると判断し現在の位置に配置が決定された。

5. トイレ内容の基本方針

トイレ内容の基本方針については、基本前述の**悪いイメージの払拭を目標**としている。

安全性：誰でも安心して利用できることを目指し、明るく開放的空間であり、スタッフの常駐と、防犯カメラの導入、各ブースでの非常ボタン設置を方針とした。

清潔性・快適性：スタッフの常駐による高頻度の清掃による清潔性の保持と誰でも、**特に女性利用者が快適に過ごせる空間**となるようにする。

ユニバーサルデザイン：だれでもトイレのみではなく通常のブース内も誰もが使いやすい計画とする。

公衆トイレの主目的であった用便という部分以外の付帯する**身繕い・化粧さらに休憩・情報提供という副次的機能の充実**を図り結果的に地域のシンボル・話題性をもった空間へ変換をすることを旨とする。

6. 整備方針について

有料・休憩機能：1回の利用について使用料を徴収する。待ち合わせや休憩できる機能を持たせる。

インフォメーション機能：**案内スタッフを常駐**させ、行政・地域情報を提供する。

広告・PR機能：企業広告の可能性を求め、収益を維持管理費に充てることを検討する。

施設：**男女の空間比率を4：6程度とし、女性により広い空間を割り当てる**。用便以外の身繕い空間としての整備を行う。

7. 喫煙・情報コーナーの設置について

千代田区で施行した生活環境条例に伴う路上禁煙により、区内への喫煙スペースの設置について検討していた(株)日本たばこ産業(JT)が、有料トイレ内に喫煙スペースを設置することに賛同し、喫煙コーナーの設置が決定した。また情報コーナーは、千代田区内の観光案内促進を担当している(財)まちみらい千代田(当時)の協賛と秋葉原に起業した知的ビジネスを創出する企業が次世代型情報発信システムの実証実験を行うことで決定した。

8. 有料トイレの愛称募集と完成

トイレとしての機能だけでなく複合的な機能を備えている公衆トイレとして、利用者から広く親しまれるよう、愛称を募集することとなった。全国より約350件の応募があり、その中から「**街のオアシスになるよう、情報発信地のイメージ”@akiba”を添えてみた**」という意味である「オアシス@akiba」が秋葉原有料公衆トイレの愛称として決定し、都内初の有料公衆トイレとして平成18年10月16日に「オアシス@akiba」がオープンした。

9. 有料トイレの管理について

トイレ内容の基本方針、整備方針で前述したとおり、有料トイレで安全で清潔なトイレ空間を提供すると共に、街のインフォメーションとして行政・地域情報を利用者へ提供するため、スタッフを常駐させて清掃・受付管理を行うシステムとした。

10. 「オアシス@akiba」利用状況について

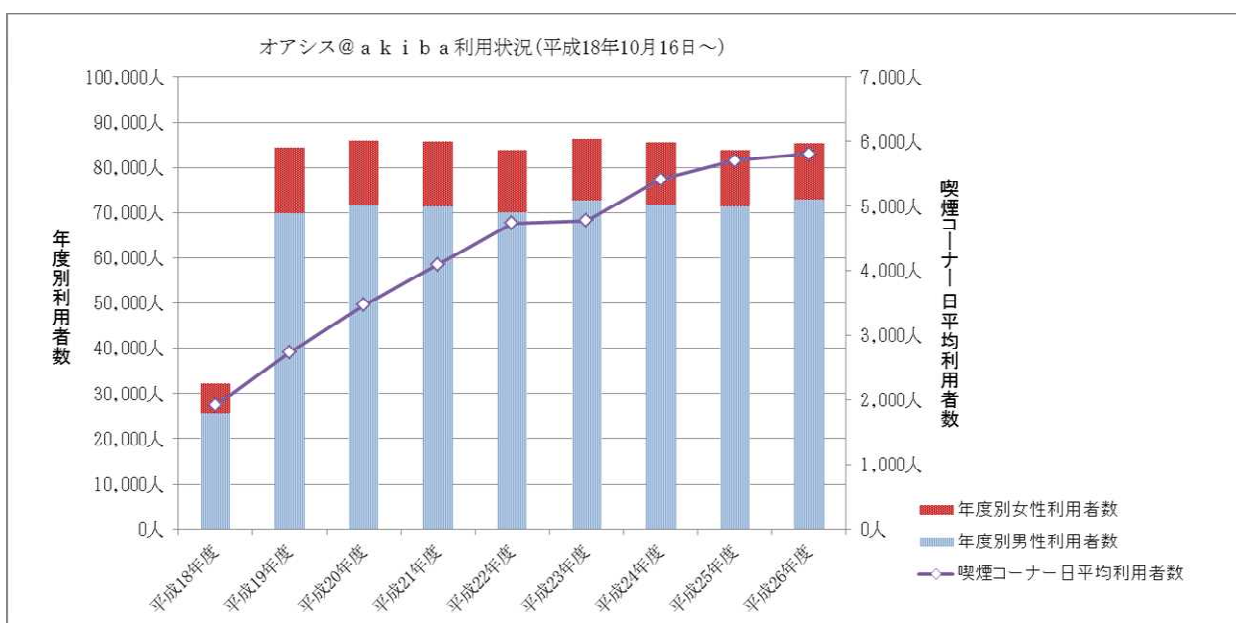
現在までの「オアシス@akiba」の利用状況は次のとおりである。

・有料トイレ

有料トイレは、1年間で約87,000人の利用者があり、1日の平均利用者数は、約240人となっている。当初、千代田区では1日の平均利用者数を100人と想定していたが、それをかなり上回る結果となった。利用者属性については、男性・女性で比較したところ**男性8：女性2**となっている。

・喫煙コーナー

喫煙コーナーには、灰皿やベンチだけでなく、フリーペーパーや喫煙マナーを促すTVモニター等が配置されており、常に利用者がある状態である。1日の平均利用者数も当初約2,700人であったが、現在、利用者数が増えており平成26年度の1日の平均利用者数は約5,800人となっている。



11. 「オアシス@akiba」の維持管理経費について

「オアシス@akiba」の維持管理経費は次のとおりである。

平成 25 年度	内 訳	金額 (千円)	備 考
歳入額	利用者使用料・維持管理負担金等	21,734	利用者数 88,430 人
歳出額	人件費、減価償却費を除く	24,547	
差 額		2,813	

参考：千代田区公衆便所平均維持管理経費 1,803 (千円)

12. 「オアシス@akiba」の評価について

オープン当初、有料トイレに関する評価としては、概ね好評を得ている。意見としては、「利用料 100 円の価値はある。」「とてもキレイ。」「着替える時に便利。」「使用料支払いでスイカが使えて便利。」などといった肯定的意見が多かった。しかし、中には「公衆トイレが何故有料なのだ。」「用を足すのに 100 円は高すぎる。」「税金の無駄。」「喫煙コーナーはいらない。」等といった否定的意見もあった。

現在では「オアシス@akiba」の常連客による利用など、秋葉原に定着している状況である。

13. 今後の展開

来年には、オープンから 10 年を迎えることになるが、一方で施設内設備の大規模な更新を行う必要が生じてきている状況にある。

秋葉原の顔の一つとして定着した、「オアシス@akiba」を常に清潔で安心して利用できるトイレであることを守るとともに、更なるステップアップを目指し、今後も「オアシス@akiba」の利用者数を保ち、更には増やしていくためのリニューアルを実施することが必要であると考え、現在、検討中である。

また、秋葉原周辺エリアの公共空間等を活かし、まちの更なる魅力や価値を向上するため総合的に管理・運営する官民協働組織である「秋葉原タウンマネジメント株式会社(秋葉原TMO)」が設立され、地域の活性化に寄与しているところである。

今後は、この秋葉原TMOの活動に「オアシス@akiba」を組み込み、これまでとは違った民間による運営への展開を図ることも検討の視野に入れていく。



建物概要

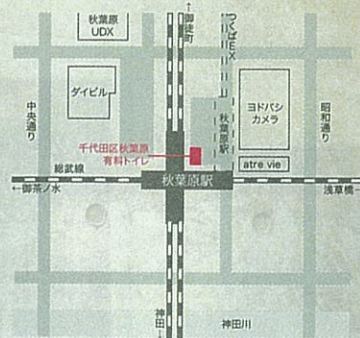
規模/地上1階 160㎡ (トイレ部+喫煙コーナー)
 建築主/千代田区
 基本構想/千代田区環境土木部道路公園課
 千代田区公衆トイレに関する検討協議会
 設計監理/(有)設計事務所ゴンドラ
 施工/春日建設(株)
 構造設計/(株)梅沢建築構造研究所
 設備設計/(株)環境エンジニアリング
 照明デザイン/TOMITA LIGHTING DESIGN OFFICE INC.
 竣工/2006年10月

協賛企業(順不同)

日本たばこ産業株式会社
 株式会社アドヴァン
 株式会社INAX
 インシステム協同組合
 コンビウズ株式会社
 ジェイアール東日本メカトロニクス株式会社
 株式会社新産業文化創出研究所
 デコラニット株式会社
 東陶機器株式会社
 日光化成株式会社
 裕林物産株式会社

施設愛称名「オアシス@akiba」の命名

施設のオープンに先立ち、区広報やインターネット等による愛称募集には、全国より約350件のご応募をいただき、「オアシス@akiba」が選定されました。「街のオアシスになるよう、情報発信地のイメージ@akibaを添えてみました。」(命名者:区内在勤の女性)



千代田区秋葉原有料公衆トイレ
 オアシス@akiba
 7時~22時 年中無休
 トイレ利用料/1人1回100円
 *小学生以下、身障者無料
 情報コーナーおよび喫煙コーナー無料
 お問い合わせ先/
 千代田区環境土木部道路公園課
 ☎03・3264・2111(代表)

千代田区秋葉原有料公衆トイレ

オアシス@akiba

Fun toilet to go...?
Let's check it!



有料公衆トイレ「オアシス@akiba」

家庭においては家の顔、商業施設では重要なサービスのひとつと言われるトイレですが、公衆トイレは「暗い・くさい・汚い・怖い・壊れている」の5Kとも呼ばれます。区では、首都東京の顔として多数の外来者が訪れることから、区のイメージアップを図るため、都心に合ったハイグレードな仕様と、スタッフが常駐し、誰もが安心して利用できる有料公衆トイレを、IT先端都市アキバに設置しました。施設にはトイレの他に、秋葉原や千代田区を訪れる人々へのタウン情報を提供する情報コーナーと、路上喫煙を減少させることを目的とした喫煙スペースを併設しています。

有料公衆トイレ設置の背景

千代田区内30箇所の公衆トイレの維持管理費は、年間約5,000万円にも及びます。毎日1~2回、1年365日の清掃にも関わらず、一部の心ない人によるマナーの悪い使い方や落書き、時には破壊等が繰り返されます。そのため、区では2003年に区民や学識経験者による「公衆トイレに関する検討協議会」を設置し、公衆トイレの利用実態調査を踏まえた検討を行いました。調査では女性の利用者はわずか3%ほどしかなく、治安の悪化や老朽化、バリアフリーの不十分さなど、多くの課題が明らかとなりました。2004年3月、検討会は今後のトイレのあり方の一つとして、誰もが安全で快適に利用できるよう、スタッフ常駐による有料トイレの設置を答申しました。その中で、トイレとしての機能のみでなく、街の情報案内や休憩所など、多くの人が気軽に集まるオアシスとしての機能の併設が提案されました。「オアシス@akiba」は、そのモデル有料トイレ第1号として、新しい公衆トイレの方向性を示すと共に、利用者のマナー向上や意識改革への願いを込めて、千代田区から全国へ向け発信されるものです。
 (「公衆トイレに関する検討協議会」の詳細は千代田区環境土木部ホームページをご覧ください。
<http://kankyo-doboku.city.chiyoda.tokyo.jp>)

Clean, Secure, Lots of Information...Entirely new kind of Public Restroom

情報の街秋葉原に生まれた、公衆トイレの新しいかたち。

万全の設備をととのえた美しいデザインのトイレ、街や区の情報の発信地、駅前の憩いの場……。魅力的な機能がひとつになった、千代田区営の有料トイレ「オアシス@akiba」がオープンしました。いつもスタッフがいるから、安全、安心、きれい。これまでの公衆トイレのイメージを一新する施設です。



秋葉原の駅前に位置する千代田区有料トイレ「オアシス@akiba」は、スタッフ常駐だから、安全、安心、きれい。行き届いた設備を備えた万能トイレです。情報発信の場として、憩いの場としても機能します。

a Paid Toilet 有料システム

1人1回100円の有料トイレです。100円硬貨を投入するか、電子マネー「Suica」をかざすと自動で扉が開きます。両替は受付にお申しつけください。



設備の調った、いつもきれいで安全な有料トイレ。わざわざ寄ってみたいくなる!



k Terrace テラスデッキ

秋葉原駅の東側広場に面したテラスデッキは、小休止の場としてご利用いただけます。デッキ上は喫煙コーナー前の一部を除き禁煙です。



j Smoking Area 喫煙スペース

全国に先駆けて路上禁煙の条例を制定した千代田区。路上喫煙防止のため、日本たばこ産業株式会社(JTI)の協賛で、喫煙スペースを設置しました。



i Guide Panel 案内パネル

秋葉原にあるIT研究機関の協力で、ガラスに触れると街の映像や情報が引き出せたりする、最先端のタッチパネルの実験を行っています。



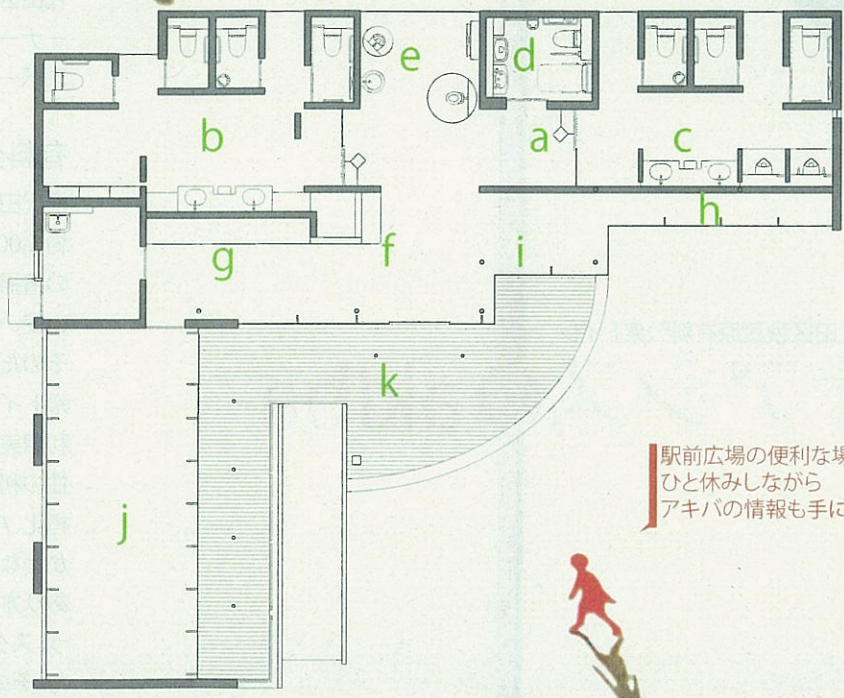
h Message Wall メッセージウォール

長さ6m、高さ3mのガラスの掲示板は、公共広告などのほか、災害時の帰宅困難者などのメッセージ板としての利用も想定しています。



b Women's Toilet 女性トイレ

プライバシーを十分に確保する独立性の高いブース、パウダーコーナー、大きな姿見や着替台等を備えた“街の中の個室”として機能する空間です。

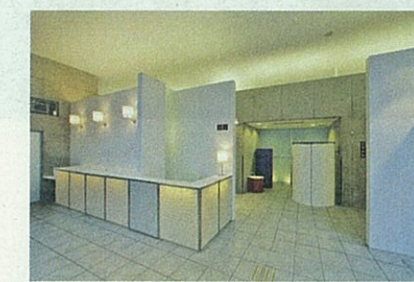


駅前広場の便利な場所。ひと休みしながらアキバの情報も手に入れられる。



g Information Corner 情報コーナー

千代田区や秋葉原の情報を提供する利用無料のコーナーです。“情報先都市アキバ”にふさわしい多様な情報を各機関と連携して提供します。



c Men's Toilet 男性トイレ

小便器より、個室ブースを多く用意しました。女性トイレ同様に、各ブースのカラーコーディネートを換え、姿見も設置されています。



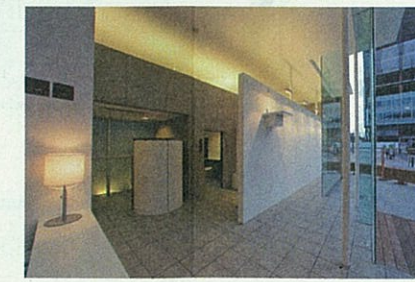
d Toilet for the Disabled だれでもトイレ

受付から見通しの良い場所に位置する、車椅子が方向転換できる広いトイレには、手摺、大人用おむつ換え台を備えました。(身障者利用無料)。



e Children's Toilet こどもトイレ

小さなお子様が一人大も使える、小さなサイズの大便器・小便器・手洗いを準備。オムツ替えベッドも設置されています。(小学生以下利用無料)。



f Reception 総合案内

ご利用される皆様に常に快適な施設を目指して、制服着用フレッシュなスタッフが常駐し、施設の管理、清掃、観光案内等を行います。

